

私大図協・東・研・2015-37  
2015年10月23日

加盟大学図書館長 殿

私立大学図書館協会  
東地区部会研究部担当理事校  
桜美林大学図書館  
館長 清水 竹人  
【公印省略】

## 2015年度 研究分科会報告大会開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、私立大学図書館協会東地区部会の活動にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さてこのたび、標記研究分科会報告大会を下記のとおり開催することになりました。この研究分科会報告大会は、6研究分科会が2年間（2014～2015年度）にわたり調査研究した成果を、研修分科会が1年間（2015年度）の研修成果を発表する場となっております。

つきましては、館務ご繁忙のところを誠に恐縮ですが、貴館職員の参加につきましてご高配いただきたくよろしくお願い申し上げます。

敬具

### 記

1. 日 時 2015年12月11日（金） 9：30～17：00（受付開始 9：00）
2. 定 員 100名
3. 会 場 明治大学 和泉図書館  
所在地 〒168-0064 東京都杉並区永福1丁目9-1  
[http://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/izumi/access.html](http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/izumi/access.html)

#### 4. 申込方法と締切：

参加ご希望の方は以下①～⑤をご記入の上、E-mailにてお申し込みください。  
（研究分科会報告大会発表者及び機器操作者・分科会代表者は除く）

申込用アドレス：eastlib@obirin.ac.jp

発信者：参加希望者本人のアドレスから送信してください。

メール件名：「12/11 参加申込（大学名）」

メール本文：①図書館名 ②参加希望者名（漢字） ③参加希望者名（カナ）  
④参加形態（ABCをご記入ください）  
A：1日 B：午前のみ C：午後のみ  
⑤電話番号

**申込締切：11月24日（火）**

※定員超過でご辞退をお願いする方へのみ、11月24日（火）までにお申し込みいただいたメールアドレスへご連絡いたします。

## 5. 発表概要（発表時間）

### 【分類研究分科会】（9:40～10:25）

日本十進分類法新訂 10 版の変更点とその評価  
（研究発表要旨）

ついに「日本十進分類法（NDC）」の新訂 10 版が刊行された。分類研究分科会ではこの 10 年、NDC 改善を願って提言を重ねてきたが、10 版ではそのうちのどこまでが反映され、どのような課題が積み残されたかを検証する。また、次の検討に向けて、NDC が抱えている課題についても再検討をしたい。

発表者：藤倉 恵一（文教大学）

### 【西洋古版本研究分科会】（10:35～11:20）

他大学協働型のスキル継承のあり方  
～西洋古版本を扱うための知識をより多くの図書館員に知ってもらうということ～  
（研究発表要旨）

古版本の世界は見る目、経験というスキルが大きく関与する分野である。西洋古版本研究分科会では、予てより、古版本を扱うためのスキルの習得を希望する者が集まり、知識習得に励んできた。しかし、近年、大学によっては、図書館職員の異動も少なくないことを考え合わせると、自館内でスキルを継承していくことは今後ますます困難になってくるだろう。これらの状況を鑑み、当分科会では、他大学の図書館員同士が協力して、多くの図書館員へ継続的にスキルを継承していくための方法について検討した。

発表者：ティムソン ジョウナス（早稲田大学） 宮原 柔太郎（日本体育大学）

### 【和漢古典籍研究分科会】（12:35～13:20）

古典籍目録作成の情報源 ～署名・巻数の処理～  
（研究発表要旨）

古典籍の目録作成にあたり、特に国書での書誌項目の情報源について、研究者、研究機関のマニュアル、そして Nii のマニュアルと、いくつか提示されているが統一されていない。当分科会では、特にタイトル・巻数情報を主として、大学図書館での目録作成における、マニュアル等では細かく触れられない、実務上での気になる箇所について意見を述べてみたい。

発表者：松下 賢（駒澤大学） 高島 みなみ（成城大学）  
田中 麻巳（立正大学） 堀 はな恵（鶴見大学）

### 【パブリック・サービス研究分科会】（13:30～14:15）

大学図書館員のつくるフリーペーパーの発行  
～これからのパブリックサービスを求めて  
（研究発表要旨）

大学図書館をとおして、学生に何ができるだろうか。私たちの活動はこの素朴な疑問からスタートしました。

ラーニングコモンズなどにみられるように図書館のあり方が多様化しています。そうしたなかで図書館の魅力とは何か。図書館という豊穡な世界をまずは学生に伝えたい。そう考えフリーペーパーを制作しました。

発表者：太田 潤（明星大学）

**【企画広報研究分科会】**（14:25～15:10）

大学図書館の SNS 活用の調査：（SNS による広報の現在と未来）  
（研究発表要旨）

近年、様々な企業や団体が SNS を広報の有効なツールとして捉え、多くの大学図書館も活用されている。伝えたい情報と SNS を上手く組み合わせることで、大きな効果を発揮できるものであるが、適切に運用しなければ、効果は薄い。

今回の発表では、大学図書館の SNS の調査結果を踏まえ、より学生に伝わりやすい活用方法について報告する。

発表者：曾野 正士（明治大学） 飯泉 慎也（専修大学）  
加藤 庸介（文化学園大学） 藤岡 梨紗（立教大学）

**【レファレンス研究分科会】**（15:20～16:05）

レファレンス技術論：今必要な技術って何？  
（研究発表要旨）

レファレンス担当者として求められる能力について、ICT の具体的内容として捉え、それぞれの技術について確認を行った。その次に図書館と利用者との関係を、レファレンスカウンターを出発点として、図書館から利用者へ ICT を活用して何が可能となるのかを考察した。

発表者：鈴木 学（日本女子大学）

**【研修分科会】**（16:15～17:00）

2015 年度研修成果報告  
（研究発表要旨）

2015 年度の研修会の概要を報告し、そこから得た知識をもとに、参加会員自身の業務と図書館の将来をみつめます。

- 第 1 回 学びのスタイルと学習環境
- 第 2 回 アウトソーシングの基礎知識
- 第 3 回 夏季見学ツアー
- 第 4 回 機関リポジトリを知り、非来館サービスを考える
- 第 5 回 国立情報学研究所の事業と図書館間の協力

発表者：尾形 沙由美（聖マリアンナ医科大学） 畠山 祥吾（東京都市大学）  
加畑 奈緒（明治学院大学）

以 上